

取組名称	世界初の紙おむつ水平リサイクルプロジェクト「RefF」（リーフ）			団体設立後の経過年数	16年目
応募取組主体名称	ユニ・チャーム株式会社	活動地域	鹿児島県をはじめ 日本全国	応募取組の活動年数	11年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

ユニ・チャームは企業のパーパス（存在意義）を「SDGsの実現」として、紙おむつや生理用品などを中心に製造・販する日用品メーカーです。紙おむつのゴミ問題は世界的な問題となっています。こうした状況を踏まえ、当社では2015年より、使用済み紙パンツのリサイクルプロジェクト「RefF（リーフ）」を開始しました。2019年には、世界初のオゾン処理技術を確認、使用済み紙おむつの水平リサイクルに成功しています。

実績の要旨

2022年には介護施設向け紙おむつのRefF商品を発売。2024年からは一般向けのRefF商品も発売し、2025年にはおむつの三大素材であるパルプ・プラスチック・高分子吸収材のすべてのリサイクルに成功しました。鹿児島県内の2自治体と連携し、リサイクルされた使用済み紙おむつは553万枚(2025年6月時点)に及びます。2030年までに国内外で10の自治体に展開することを目標としており、いずれは世界へ展開していくことを目指しています。

取組評価の要旨	環境への貢献	RefFを通じて、国内の廃棄物の約5%を占める紙おむつのリサイクルを推進
	社会・経済への貢献	自社のみの取り組みとせず、複数企業・自治体と連携しサーキュラーエコノミー創出
	地域資源の活用	鹿児島県内2自治体の、埋め立て処分予定の使用済み紙おむつを、専用回収ボックスを設置し資源循環活用
	普及・汎用性	回収したおむつから、大人用紙パンツ・ベビー用紙おむつ・ペット用シート・トイレトペーパーなどへリサイクル実現
	革新・ユニーク性	世界初の紙おむつ水平リサイクル技術の確立&自社商品だけでなく、多岐に渡る商品化
	継続性	2010年から技術開発をスタートし、16年間使用済み紙おむつのリサイクルに邁進

展望の要旨

2030年までに、当社が主体となって10の自治体と連携することを目指す